

令和2年度 環境保全報告書

2021年 7月

株式会社 神戸製鋼所
神戸総合技術研究所

1. 温室効果ガス排出量
2. 活動結果の報告

The logo for KOBELCO, consisting of the word "KOBELCO" in a bold, blue, sans-serif font.

1. 温室効果ガス排出量

1)電力

当事業所の主要なエネルギー源である電力については、

- ・トランスの集約と更新
- ・老朽化した空調機等の更新
- ・照明の LED 化

を計画的に推進し、電力使用量の削減に努めた。

しかし、事業所全体の電力使用量はコロナ感染拡大防止措置として、居室内の定期的な換気などを行ったことで空調の電力使用量の増加により、2020 年度の電力使用量は 2019 年度に比べ約 1.5%増加（7,461,000→7,573,100kWh）となった。

2)都市ガス

空調設定温度の適正化や、全社として推進している「サマーエコスタイル」など、削減活動を継続して実施している。ガスヒートポンプタイプの空調機の稼働において、居室部では都市ガス使用量が増加しているエリアも見受けられるが、コロナ禍で社内の大規模な行事が中止となったことで会場として利用される収容人数の大きな会議室・施設利用が少なくなった影響により、都市ガス使用量は昨年度比 10.4%の削減となった（239,005→214,081m³）。

以上の結果、電力使用量は増加となったが、電気の CO₂ 排出係数の変化により、都市ガスを含む全項目の事業所全体の二酸化炭素発生量は、2019 年度比 133 トン減（電力 77 トン減+都市ガス 56 トン減）となった（表 1）。

表 1 2019 年度-2020 年度 二酸化炭素排出量の比較

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	年度	使用量等 電気：kWh 都市ガス：m ³	単位 発熱量 (GJ/m ³)	排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	温暖係数	排出量 (t-CO ₂)	増減量 (t-CO ₂)
電力会社から供給される電気を使用	電気	2019 年度	7,461,100	-	0.000462	1	3,447	-77
		2020 年度	7,573,100		0.000445	1	3,370	
燃料としての利用	都市ガス	2019 年度	239,005	0.04378	0.0517	1	541	-56
		2020 年度	214,081	0.04378	0.0517	1	485	
							計	-133

2. 活動結果の報告

分野	項目	活動目標および活動内容	実施状況
二酸化炭素排出量削減	1) 自主活動	<p>○エコアクション 21 (以下 EA21) の管理下にて不要電灯消灯の徹底、作業者不在 PC モニターの電源 off の活動を行った。2019 年度目標比で不要電灯は、0.1%削減、PC モニタは 0.3%削減を目標値とした。毎月の定期パトロールで目標値の達成状況を調査し、併せて室温冷房時 28℃、暖房時 20℃を目安とする温度管理状況も把握した。</p> <p>○冷暖房用都市ガス使用量削減 2019年度目標(*)と同等=232,552m³を目標に掲げ活動した。 (*)2018年度実績以下</p> <p>○都市ガス使用空調機の設定温度の適正化。</p>	<p>〔目標と実績〕</p> <p>○不要電灯の点灯率 目標 0.2%以下→実績 0.0% PC モニターの電源 off 目標 3.0%以下→実績 0.6% 昼休みの不要電灯については、100%消灯されており、また作業者不在時の PC モニター点灯率については、継続した啓発活動を展開したことで、昨年度に引き続き今年度も目標をクリアすることが出来た。</p> <p>○冷暖房用都市ガス使用量削減 目標：232,552 m³ →7.9%削減 の 214,018 m³</p> <p>○月によっては、目標値を超過（4、9、1月）していたが、年間においては目標値に対して、10%削減となった。</p>
	2) 設備運用方法の改善	<p>○クリーンルーム空調の運転時間の見直し</p>	<p>○2号館クリーンルームの運転時間の見直し（夜間、休日に空調を停止するエリアを拡大）により、53 トンの二酸化炭素排出削減（見込み）となった。</p>
	3) 設備更新	<p>○トランスの集約と更新</p> <p>○実験室の照明を LED 照明に更新</p> <p>○空調の更新</p>	<p>○トランスの集約と更新：52t-CO2/年</p> <p>○LED 照明の更新：22 t-CO2/年</p> <p>○空調の更新：18 t-CO2/年</p> <p>計 92 トンの二酸化炭素排出削減（見込み）となった。</p>
上水使用量の削減	節水	<p>○上水使用量を 2019 年度実績比 0.4%削減する計画とした。 EA21 活動の一環として、月毎の上水使用量の監視を継続して実施する。</p>	<p>○毎月の上水使用量を監視。手洗い場に「節水」の表記を行う等、従業員に周知した。前年より使用量が増加した建屋も見受けられたが、全体としては目標比 1.0%削減した。</p>
化び一般廃棄物の減量・再資源	1) 一般廃棄物の適正処理	<p>○ゴミ箱パトロールを実施し、リサイクル可能なものがないかどうかの確認。 (1回/3ヶ月)</p>	<p>○分別回収を徹底するための啓発活動を継続的に実施し、問題点はその都度指導を行った。</p>
	2) 産業廃棄物の適正処理	<p>○廃棄物の分類を細分化して、より適正な形で廃棄する。</p>	<p>○廃棄物分別状況調査を目的にゴミステーションのパトロールを実施した。その結果、分別・廃棄方法に問題はなかった。</p>

分野	項目	活動目標および活動内容	実施状況
一般廃棄物の適正処理及び 廃棄物の減量・再資源化	3) 一般廃棄物の減量	○2019年度実績比 1.0%削減	○目標比 19.1%削減。月ごとにおいても、全て目標達成となった。 コロナ禍からテレワークが増加し、その結果、一般廃棄物の排出量が減少した。
	4) 資源の有効利用	○コピー用紙使用量の削減目標を平成2017~2019年度実績比の平均以下。 ○両面コピー、2in1、裏紙使用の徹底。	○コピー用紙使用量は、目標比 52.2%削減し、大幅に達成することができた。 2016年度より実施している会議のペーパーレス化や決裁申請手続きの電子化など継続した活動に加え、オンライン会議の活用により、大幅減となった。 ○複合機へ「両面コピー、2in1、裏紙使用」について啓発の表示を継続して行った。
薬品管理の徹底	1) 薬品管理	○薬品の棚卸し実施。(2回/年)	○8月および2月に棚卸しを実施した。
	2) 教育	○薬品の取扱い規程について周知、薬品取扱いの講習会の開催。(1回/年)	○薬品管理規則の周知は、完了した ○薬品に関する社内教育は、コロナ禍の影響もあり、開催を見送った。
環境管理の維持	環境マネジメントシステムの認証登録	○EA21の認証・登録を継続するため、中間審査を受検する。	○2021年3月、中間審査に合格した。
自動車対策	排気ガスのグリーン化	○低公害・省エネルギーな自動車への転換。	○2020年度、社用車と構内専用車ともに、更新なし。
環境に配慮した施設・設備	1) 緑地整備	○敷地内及び、周辺の整備を継続する。	○継続実施した。
	2) 環境保全設備の整備	○研究排水設備の点検、保全を徹底する。 ○定期的に水質検査を実施する。 (分析項目及び頻度は、通達に従う)	○設備定期点検実施済み。(毎月) ○定められた通りに水質検査を実施した。
従業員教育	環境に関する教育	○EA21の2019年度実績と2020年度計画を周知する。	○全員への教育は、実施済み。
		○コベルコエコライフノート(環境家計簿)への参加を奨励し、環境意識啓発を図る。	○研究所内の神鋼従業員を対象に継続して実施。
地域社会への参画	地域社会の環境保全活動等に地域社会の一員として、社員の自主参加により参画することを支援	○就業後に当社周辺のバス停、公園周りや通勤路のゴミ掃除(グリーン活動)を毎月1回実施する。	○事業所周辺のクリーン活動は、コロナ禍のため、中止とした。